千葉大学
画像工学同窓会会報
No.24
2021.10 OCT
http://gazo-chiba-u.jp/

会長挨拶

この度、多くの方からの後押しを受けて、若輩者ながらに、千葉大学の画像工学同窓会会長をお引き受けさせていただくことになりました。若くして、多くの先輩方が集う同窓会の会長を務めさせていただくことは身の引き締まる思いです。同窓会の更なる活性化のために皆さまのご支援をいただければ幸いです。

さて、画像工学同窓会は、「写真工学科」と「印刷工学科」が統合されて、「画像工学科」が誕生し、その後1996年に発足したことは皆さまの記憶にも新しいことと存じます。私自身は、その後さらに「画像工学科」が「情報工学科」と統合され、「情報画像工学科」となった1998年に千葉大学に入学しました。前会長である矢口先生の下で色彩工学を学び、2005年に大学院を修了するまで学生生活を過ごしました。

その後、画像工学同窓会の歴史の中で、2017年に千葉大学に「画像」を冠した学科名が無くなったことは、大きな出来事でした。大学院には「イメージング科学コース」として「画像」の呼び方が残っていることは、我々同窓生にとっては少し寂しさが和らぐことかもしれません。ただ、改組に伴い、我々同窓会に入会する後輩が学科名からでは簡単に特定できなくなってしまったことは、これからの同窓会運営にとって大きな課題を残しました。

画像工学は、写真・印刷といったアナログ画像から始まり、その後、情報技術とも融合しデジタル画像に発展してきました。これからは、ヒューマンセントリックな画像技術が生活や産業の中で発展を見せる時代になってきます。また、母校千葉大学は、今年2021年4月に千葉の枠にとらわれず、都内に墨田キャンパスをオープンさせ、その中には、イメージング科学コースも参画することになりました。

こうした大きな転換期の中で、今回、会長を務めさせて頂くことになりました。より一層、多くの同窓生が楽しく集い、新たなコラボレーションを産み、母校である千葉大学及び、現役学生、そして、画像研究や教育の発展に寄与できるような同窓会運営ができるように工夫を増やしていきたいと思っています。卒業生のコミュニティとして少しずつ前進できるよう、総会などの場で皆様と集えることを願っています。

学部卒業年：平成14年　虎岩雅明

画像工学同窓会　総会・懇親会・技術講演会のお知らせ

令和4年度の定時総会を例年同様、開催いたします。ぜひ、皆様お誘い合わせのうえ、ご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。なお、総会・懇親会ともに、ご参加の有無を同封の振込用紙にご記入の上、ご送付ください。懇親会後は各研究室でお集まりいただき、親睦を深めていただければと思います。

日にち 2022年1月22日(土)15時から　**場　所** 墨田サテライトキャンパス

※新型コロナウィルスの影響により開催場所や時間など変更する可能性があります。詳細の部屋番号等はWebサイトにて告知いたします。
※最新情報は、画像同窓会Webサイトをご覧ください。画像同窓会Webサイト: http://gazo-chiba-u.jp/

画像工学同窓会 第22回技術講演会
(公開行事)

時　間：15:00～15:50
演　題：**「機能性薄膜形成と機能活用 ～単分子膜から印刷薄膜まで～」**(仮)
講　師：福田伸子(産業技術総合研究所)
参加費：無料

見学会

時　間：16:00～16:40

懇親会

時　間：17:20～18:50
場　所：墨田サテライトキャンパス
(詳細は、画像同窓会Webサイトをご参照ください)
参加費：2,000円(予定)

令和4年度 定期総会

時　間：16:50～17:20
演　題：**令和3年度事業報告、会計報告、令和3年度事業計画、予算案**
参加費：無料

墨田サテライトキャンパス　〒131-0044 東京都墨田区文花1丁目19-1　交通：東武亀戸線小村井駅より墨田キャンパス正門まで徒歩12分

墨田サテライトキャンパス開設

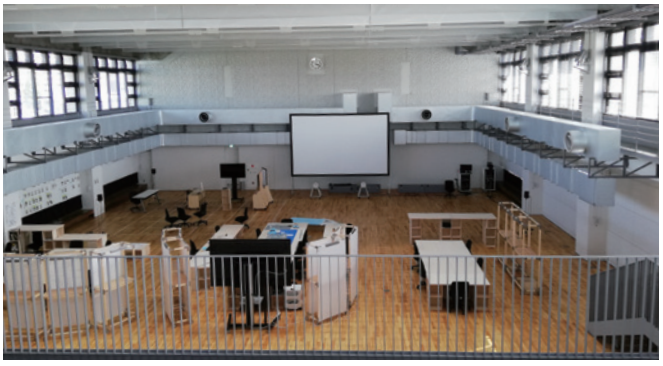
2021年4月より墨田サテライトキャンパスがスタートしました。工学部100周年を機に、デザイン（工業意匠）、建築、イメージング科学（画像系）に加え、ランドスケープ（園芸学）や予防医学を加え、「ものづくりのまち」である墨田区で、工学全般から文理横断へと分野を拡張し研究を展開するキャンパスになります。このキャンパスは、技術開発支援やものづくり研究など、地元企業の経営・技術支援の拠点であった「すみだ中小企業センター」を改修し、その施設を本学が賃借する形で開設されています。イメージング科学からは津村徳道准教授、5月に急病で逝去された平井経太准教授が本キャンパスの開設に向けた設立委員として大変ご尽力されました。墨田で主に活動する組織として「デザイン・リサーチ・インスティテュート（略称dri）」も設立され、学内の横断的な利用のほかにも海外学生短期受入プログラムの実施、地元企業の研究開発パートナーとしての支援等を展開していきます。最寄り駅は東武亀戸線の小村井駅で徒歩8分程、都営浅草線・京成線の押上駅、また、東武線・京成線の曳舟駅からだと徒歩15分程の場所になります。

現在のコロナ禍においては、1階東側部分で写真のように墨田のワクチン接種会場として暫く活用されています。改修前のすみだ中小企業センターにあった、和室の部屋や体育館として使用されていた場所を、取り壊さずに新しく改装し、和室は日本文化を意識した利用スペース、体育館は広い講堂としても利活用できるワークスペースとして用意されています。

このキャンパスは、兼務の教職員が27名、常駐の事務職員が3名で運営されています。キャンパスとしての前期現在の使用状況はモデルショップと名付けられた1Fにある工房でのデザイン系実習や、4Fワークスペースでのデザイン系や建築系のセミナー、3Fセミナー室での大学院授業として使われている頻度が多い状態です。イメージング系としては、デザイン系、建築系の大学院生と共に6・7月の2か月間での集中授業で、墨田にある各種の工業・工芸に焦点を当て、それぞれの特徴をプロジェクションマッピングによって表現させる演習授業が実施されました。今後はカリキュラム以外でも共同研究利用などの活用が随時図られていくことでしょう。画像工学同窓会としても1月末に行われる総会に利用する予定にしています。

（S58卒、兼務職員：齋藤了一記）

日本文化を意識した利用スペース



広い講堂を活用するワークスペース

佐藤 弘美
千葉大学　大学院工学研究院
融合理工学府　創成工学専攻
イメージング科学コース

2021年4月より千葉大学大学院工学研究院イメージング科学コース助教に着任いたしました、佐藤弘美です。私は2016年に東京大学で心理学の学位を取得し、2019年までは工学院大学で学振PDを、その後は東京大学でポスドクを勤めてまいりました。専門としては心理物理学的アプローチを用いた視覚情報処理の研究を行っております。具体的には、画像のぼけが画像の高空間周波数成分中の暗い部分が損なわれることによって生じ、明るい部分が損なわれてもぼけては見えないこと、また画像の色情報が失われると画像から受ける気持ち悪さの印象が軽減されるが、色情報の有無は恐ろしさにはほとんど影響しないことなどを明らかにしてまいりました。今後はさらにこれらの知見に工学的な技術を組み合わせることによって応用研究も発展させていきたいと考えております。私はこれまで研究室や学務運営の経験がないため、何かと至らない点もあるかと存じますが、研究室を共同運営させていただいている溝上陽子先生や研究室の学生の皆さんと協力して活気ある研究室を目指していく所存です。まだまだ未熟者ではございますが、ご指導・ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平井経太先生追悼

画像工学同窓会で副幹事長の平井経太先生（千葉大学大学院 工学研究院 創成工学専攻 イメージング科学コース 准教授）が、2021年5月1日に急性疾患により逝去されました。6月の誕生日を前にした39歳というあまりにも若いご他界です。

平井先生は2010年3月に三宅洋一名誉教授の元で博士の学位を取得し、同年の4月より富永昌治教授（当時、現退任）・堀内隆彦准教授（当時、現教授）に助教として奉職されました。当時から筆者は技術職員として同研究室に勤務しておりましたので、10年以上のお付き合いになります。今回は身体が不調時であったにも関わらず乗り越えられるだろうと無理をされてしまったが為、救急搬送された時点で症状が悪化して落命されてしまいました。高校球児で大学時代も硬式野球部で活躍されていたと聞いておりましたので思いもよらない訃報でした。

平井先生は2018年の10月から准教授に昇進し、2019年4月から自分の研究室を開いて大学内外での活躍を拡げている最中でした。頼まれる仕事は鋭意引き受けるポリシーで、学会の幹事、会誌編集委員、全国大会プログラム委員長等々を、幾つもの学会で担当されていました。先生の代表的な研究業績の1つに分光プロジェクタの開発があります。所望のスペクトルを有する光を画素単位で制御してプロジェクションするシステムです。再現制度の良いシステムで、若くして招待講演を度々受けていました。最近は、深層学習を画像処理に積極的に取り入れる研究をされており、様々な企業との共同研究を数多く実施されていました。これら研究の評価は高く、ご自身が論文賞や優秀発表賞を受賞されるだけでなく、教え子達による学会での優秀発表賞も数多く授与されています。

画像機器やIT関連の新しい情報に詳しく、誰から問い合わせを受けても適確に応答されており、筆者も使い方を良く教えてもらいました。学会などのホームページやオンライン会議システムの整備にも尽力されていましたし、コロナ禍においては大学でのオンライン授業にもいち早く対応されており、なんでも上手に熟せるのだなと感嘆していた次第です。

同窓会活動にも真摯に取り組んでおられ、工学部全体の同窓会組織である工学同窓会でも名簿管理委員を長く続け、今期は副幹事長でもありました。当画像工学同窓会では、100周年記念の際に当時の湯本好英会長と企業への寄付金願いに大学側教員代表として帯同されていましたし、2016年の技術講演会でのカラーマネージメントに関する講演をご記憶の方もおられましょう。

今後のイメージング科学分野の発展に大きく貢献していく人材であった筈だけに、道半ばでの非業の死であったと感じています。私生活では奥様と未だ幼いお子さんを残してのご永眠でした。このため学内外からご家族を支援する声が上がり、広く関係者へ呼びかける形で寄付活動を立ち上げることにしました。この会報内に掲載されていますので、ご懇意にされていた方は是非ともご賛同頂ければ幸いです。平井先生のご遺徳とご功績を偲び、心より感謝の意を捧げますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。合掌。

（昭和58年卒、千葉大学技術職員：齋藤了一）

久保走一先生の想いで

写真提供：三宅洋一

久保走一先生が令和2年11月16日、92歳にて幽界に旅立たれました。この訃報を半年も過ぎた今年5月にご子息から受け、驚きと共に、色々な想いが頭を過ぎりました。

久保先生は我々写真工学科、画像工学科の先生であるとともに、千葉大学工学部の前身である東京工業専門学校写真科を卒業された大先輩でもあります。

先生のご専門はカラー写真でした。感光材料の化学的側面、色再現の物理的側面、画像評価の心理的側面を深く研究しており、当時のカラー写真の発展に大きな業績を残しました。先生の講義の中で、カラー写真は一片のフィルムの中に、画像の入力、処理、そして表示の技術の全てを含んでいるという言葉は今でも鮮明に覚えております。

また、画像工学における視覚の重要性をいち早く認識され、視覚工学講座を立ち上げました。研究者駆け出しの私をその講座に加え頂き、久保先生、三宅洋一先生と共に過ごしたことは、私の教育研究人生にとって大変貴重でありました。久保先生のおかげで今の私があります。心からご冥福をお祈り致します。

（画像工学同窓会 前会長、千葉大学名誉教授：矢口博久）

平井経太先生急逝によるご家族へのサポート活動のお願い

千葉大学工学部情報画像工学科を卒業し、千葉大学の画像系教育・研究分野でご活躍されていました平井経太先生（千葉大学大学院 工学研究院、創成工学専攻 イメージング科学コース 准教授）が、令和3年5月1日に急性疾患のためご逝去されました。

享年39歳という若さであり、残された奥様とお嬢様の心情を察すると、悲しみに堪えません。一家の大黒柱であられた平井先生のご家族をサポートするため、支援金を募集したいと存じます。平井先生は千葉大学画像工学同窓会の幹事として、ここ数年、同窓会と千葉大学の重要な橋渡し役を担っていただいていたため、千葉大学画像工学同窓会に集金の事務をお願いしております。

入金先や振込先は、下記のとおりとなります。ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

平井経太先生　ご家族支援金サポート　発起人
齋藤了一（平井先生同僚、千葉大学職員）
虎岩雅明（千葉大学卒業生、株式会社TRYWARP代表取締役）

振込先等
- 寄付金額は一口5,000円といたします。（振込手数料は、寄付者様のご負担でお願いします）
- 画像工学同窓会が事務処理する期間は、2021年10月から2022年4月末までです。
- 領収書の発行はありません。
- 寄付者名簿は、奥様には提出しません。

銀行振り込み

三井住友銀行 千葉支店（066）
普通 8525808 千葉大学画像工学同窓会

Webサイト

http://gazo-chiba-u.jp/request-support-form

年会費納入のお願い

会費発行などの同窓会の活動は、現在、主に会員の皆様からの年会費で賄われております。正会員の皆様には、同窓会が母校を支え、会員相互の親睦を支える事業を継続・発展できますよう、同封の振込用紙にて年会費（1,000円）をご納入の程、お願い申し上げます。

また、Web決済・銀行振込をご利用の場合は、下記URLより「会費・会報」のお手続きへお進みください。

画像同窓会 会費・ご寄付のお願い　URL：http://gazo-chiba-u.jp/donation/

なお、情報画像工学科の卒業生の皆様には在学時の所属コース、研究室に関わらず、全員にお送りしておりますので、ご了承ください。

また、2020年11月～2021年8月までの寄付者一覧は以下Webサイトからご確認ください。
http://gazo-chiba-u.jp/donar

協　賛

Webサイト http://gazo-chiba-u.jp/

次年度以降の会報に協賛広告を募集中です。みんなで同窓会を盛り上げましょう（詳細はWebを参照ください）

印刷学会出版部
JAPANPRINTER

TRYWARP

人と人とをつなぐ
Apice

印刷：（株）ウイル・コーポレーション